

科目ナンバリング		G-LET35 68433 LJ38									
授業科目名 <英訳>		現代史学(特殊講義) Contemporary History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 高木 博志			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	水2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		文化財と政治									
【授業の概要・目的】											
<p>2018年度後期に引き続き、「文化財と政治」の問題を考える。現代の文化財は、富岡製糸場などの近代化遺産の評価をめぐる、あるいは「仁徳天皇陵古墳」の呼称で世界遺産登録されようとする陵墓問題などにみられるように、密接に政治と関わっている。</p> <p>明治初期の神仏分離と美術品の海外流出に続き、1880年代には「伝統文化」保存の政策の中で、フェノロサや岡倉天心の文化財保護の活動がはじまる。立憲制の形成とともに帝室博物館、東京美術学校、文化財をめぐるジャンル・等級・時代区分が成立する。この間、国民に開かれた国宝・史跡・名勝・博物館などの文化財と、皇室に秘匿された御物・陵墓・離宮などの私的な財産の二つの文化財の体系が成立する。こうした日本の文化財の有り様を、近現代を通じて考えてゆきたい。前期においては、明治維新から明治期を中心に論じたい。</p>											
【到達目標】											
<p>注のある形式の論文が作成できる。「文化財と政治」について、授業とフィールドの両面から、理解を深める。</p>											
【授業計画と内容】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天皇制と文化財</li> <li>・ 日本的な文化の語り</li> <li>・ 明治維新と桜</li> <li>・ 近現代の桜</li> <li>・ 廃仏毀釈と文化財の破壊</li> <li>・ 古都奈良の明治維新</li> <li>・ 古都京都の明治維新</li> <li>・ 1880年代の古社寺や旧跡の保存</li> <li>・ 京都御所から京都御苑へ</li> <li>・ 明治維新と陵墓</li> <li>・ 正倉院御物の成立</li> <li>・ フェノロサ・岡倉天心の活動</li> <li>・ ボストン美術館と日本美術</li> <li>・ 臨時全国宝物調査、古社寺保存法</li> <li>・ 「日本美術史」と文化財保護</li> <li>・ 帝室博物館と古都奈良・京都</li> </ul> <p>以上のテーマを授業でとりあげる。内容は変更することがある。フィードバックについては授業中に指示する。</p>											
----- 現代史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

現代史学(特殊講義)(2)

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点及び達成度]**

講義にかかわる自由研究のレポートによる。注のある形式。授業で指示。平常点も加味する。

**[教科書]**

プリントを配布する。

**[参考書等]**

(参考書)

高木博志 『近代天皇制の文化史的研究』(校倉書房)

高木博志 『近代天皇制と古都』(岩波書店)

**[授業外学習(予習・復習)等]**

京都において、「文化財と政治」に関わる巡見を希望者で行う。

**(その他(オフィスアワー等))**

レポートの内容について個別相談に応じる。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。